

授業科目名： 体育史	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 綿貫慶徳
			担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項		
「学位授与の方針」との関係 該当なし			
授業のテーマ及び到達目標 (1) 近代社会を中心として、体育・スポーツの歴史的展開を学んでいく。(2) 日本の近代体育・スポーツに影響を及ぼした西欧における体育・スポーツ事情を理解する。(3) 学校体育における兵式体操導入のねらいを理解する。			
授業の概要 古代から近代にかけての西欧における体育・スポーツの歴史的展開、ならびに、それが日本の近代体育・スポーツに及ぼした影響を学習の柱に据えて、体育・スポーツの通史を概観していく。通史の理解を踏まえたうえで、戦前・戦中・戦後の各期における日本の体育・スポーツの特徴と相違に関する見識を深めていく。			
授業計画 第1回：体育史の対象と研究領域 第2回：体育・スポーツの起源と発展 第3回：古代の娯楽とスポーツ 第4回：古典古代の競技と体操 第5回：中世のスポーツ・身体修練 第6回：近世の体育・スポーツ 第7回：近代体育の源流 第8回：近代体育の成立と展開 (1) 近代市民体育理論の形成 第9回：近代体育の成立と展開 (2) 国民体育の成立と展開 第10回：近代スポーツの成立と展開 第11回：戦前期における日本の体育・スポーツの特徴 第12回：戦中期における日本の体育・スポーツの特徴 第13回：戦後期における日本の体育・スポーツの特徴 第14回：現代体育の源流 第15回：新しいスポーツ運動の展開			
スクーリングでの学修			
テキスト 岸野雄三 (1984) 『体育史講義』大修館書店、4-469-26101-7 木村吉次 (2015) 『体育・スポーツ史概論』市村出版、978-4-902109-39-9			
参考書・参考資料等 中村敏雄 (2015) 『21世紀スポーツ大事典』大修館書店、9784469062359			
学生に対する評価 レポート評価 (50%)、科目修得試験 (50%)			